

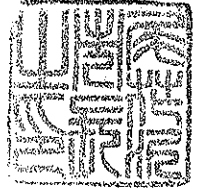


平成 19 年 建設第 49

平成 19 年 5 月 2 日

国土交通省道路局長 殿

山形県尾花沢市長 小野 紀男



道路整備の中期計画の作成にかかる意見の提出について

このことについて、平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号にて意見の提出依頼がありましたので下記により提出いたします。

記

1. 今後の道路政策や道路の整備・管理について

別添のとおり

以上

# 道路整備の中期計画の作成に係る意見の提出について

## 1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

地域間格差が問われている今日、高速道路のネットワーク確立は、均衡ある国土の発展と地域経済の活性化や物流の観点から喫緊の課題であり、切断されている路線を連結し、ハイウェイネットワークを早期に完成させることが、立ち遅れている地方の整備が促進されることを念頭に、国家の発展を支える戦略的な施策と位置づけ、最優先かつ早急に取り組んでいただきたい。

また、都市間を結ぶ高速道路、幹線道路から、生活に密着した市町村道路までを一体とした道路と捉え、それぞれの道路の性格を考慮しながら道路の機能を高めるとともに、道路と沿道を一体的に捉えた空間整備事業を補助事業として実施できれば、地域社会の中心市街地等の活性化を図る上で大きな効果が期待される。

さらに、本市のような豪雪地帯の地方自治体においては、日常的な維持補修はもとより、冬期間の除雪、排雪等の道路管理に多額の経費を要し、逼迫する財政状況の中で大きな負担となっており、道路維持管理の充実に十分な対策をお願いしたい。

## 2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

事業実施における初期投資の抑制と、構造や規格の見直しは上げられますが、事業効果の早期発現や、地方の気象条件などの実態に即した道路建設が必要であると考えます。

山間地域を多く抱える本市は、道路が生活維持のための生命線になっています。事業効果のみに重点を置いて議論するのではなく、地方における地域特性に配慮した道路整備が重要であります。地域間格差の是正など、生活者重視の視点で、医療、物流など、生活に必要な一定水準の交通サービスの確保を重視して、基幹道路等の整備の効率化を進めるべきと考えます。

## 3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

山間部・中山間部を抱える地方においては、大規模な地震や災害により、橋の落下や崖崩れなどにより道路が寸断され、孤立する集落の存在が危惧されるため、幹線道路の整備で山地を横断する工事となる場合、掘削切り土等ではなく、トンネル等で対応していただきたい。

また、災害時の危険回避に備え、迂回路線の整備や緊急輸送のための道路等の重点整備が必要と考えます。

さらに、豪雪地帯においては、防雪対策、除雪、排雪体制の充実など、雪に強く安全安心で快適な居住環境を整備充実するための財政措置を講じていただきたい。